

**Q****集中改革プランの評価と取り組み****A****不断の行政改革に取り組んでいく****五伝木隆幸 議員**

**質問一** 集中改革プランの実施状況の判定基準と事業化できなかった項目の分析は。

**二** 達成度の判定基準と計画以下にとどまった項目に対する今後の方針は。

**三** 財政効果額の算出方法と妥当性は。

**四** 集中改革プランの成果の評価は。

**答弁一(市長)**

実施、継続、一部実施、方針決定、検討中の5つの基準で整理した。社会情勢の変化等により問題解決のための前提条件が変わったことなどから、計画の変更や実施時期の見直し等が必要となったために、実施に至らなかったと分析している。

**二** 計画以上、計画通り実施中、計画通り検討中、計画変更、計画



行政改革監視委員会から「行政改革の推進に向けた提言」を受けた市長

以下の5つの基準で整理した。計画以下のものは、課題を整理した上で、次期集中改革プランに引き継ぎ、取り組んでいく。

**三** 集中改革プランに掲げた取り組みを計画通り実施した場合の財政的な効果を金額として表したもので、取り組みの成果を検証する上で、有効な指標の一つである。

**四** 市政の健全化を図り、持続可能な財政運営を行うための基盤ができたと考えている。

**Q****小学校に歯みがき推進の整備を****A****予防及び啓発方法について検討****近藤 英基 議員**

**質問一** 小学校児童の虫歯、歯周病率について。

**二** 給食後歯みがきを現在実施している学校は市内にあるか。

**三** 過去に実施した学校について。

**四** 各小学校における新型インフルエンザによる学級閉鎖率について。

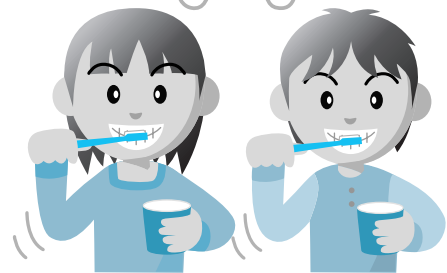
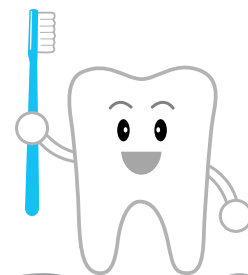
**五** 各小学校の手洗い場と蛇口数等について。

**六** 学校歯科医からの提言等について。

**答弁一(教育委員長)** 虫歯率は、

検診を受けた児童3990人中1984人、49・7割であった。歯周病率は、37人、0・9割である。

**二** 学校全体の取り組みとして実



施している小学校は、現在はない。

**三** 栄小学校、新町小学校で実施していたが、現在は時間が取れない等の理由で実施していない。

**四** 小・中学校における新型インフルエンザの学級閉鎖率は70・9割である。

**五** 手洗い場は合計で91か所、蛇口数は合計で565本である。

**六** 乳歯から永久歯に生え替わった直後は虫歯になりやすいので、

予防に対する意識を高めることが大切。早期発見、早期治療と家庭での歯みがき習慣を身につけさせる。